

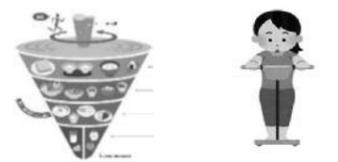
6月は「食育月間」毎月19日は「食育の日」です

健康推進課 ☎051-77550

食育は子どもだけでなく、あらゆる世代に関係します。この機会に、食の大切さを考えてみませんか。

「健康ながはま21」食育の目標

バランスの良い食事をとる
適正体重の維持



家族や友人との楽しい食事をとる
生活のリズムを整える



安全な食品を買う
郷土食を作って、食べて、伝える

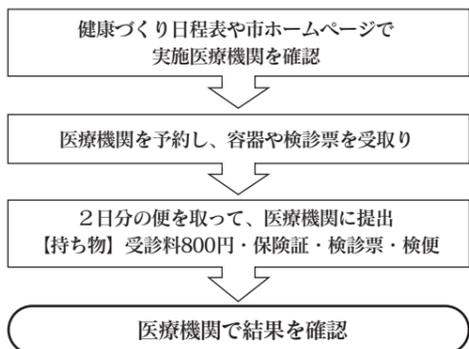


環境こだわり農産物認証マーク

大腸がんの医療機関検診がはじまります

健康推進課 ☎051-77550

今年度から医療機関でも大腸がん検診の受診が可能になりました。大腸がんは早期に発見すれば、ほぼ100%治すことができますが、早期の段階では自覚症状がありません。元氣なときこそ検診を受けましょう。かかりつけ医にぜひご相談ください。
対象は40歳以上の人です。
※痔やポリプなど、便に血の混じる可能性のある人は検診を受けられませんが、医療機関で診察を受けてください。
※集団検診を希望する人は、健康推進課までお申し込みください。



市長コラム 95

至誠通天

藤井 勇治



※至誠通天 誠を尽くせば天が味方してくれること

「菅浦文書」が国宝に

大変嬉しいニュースが届きました。西浅井町菅浦の「菅浦文書」が国宝となる運びとなりました。西浅井町菅浦は、作家白洲正子「かくれ里」と評し、東西の四足門や古い石垣を見ながら散策すると中世にタイムスリップしたような感覚になり、心が穏やかになる、私も大好きな場所です。

その景観は国にも認められ、国の重要な文化的景観「菅浦の湖岸集落景観」に選定され、日本遺産「琵琶湖とその水辺景観」に認定されています。この景観すばらしい菅浦には、もう一つ宝があります。古いものは鎌倉時代にさかのぼる「菅浦文書」です。1281通と絵図1幅からなるこの文書は、菅浦の須賀神社が所蔵されるもので、中世村落の状況などを伝えた文書として知られ、高校の教科書にも登場する日本の歴史において最も名高いものです。

この「菅浦文書」がこのたび国宝となる運びとなりました。国宝の指定は、県内は52年ぶり、市内では64年ぶりとなります。これだけでも快挙です。



▲菅浦集落

が、今回の素晴らしい知らせは、これまで国宝となっていた文書は、武家や寺社が残したものしかありませんでしたが、庶民が残した村落文書が初めて国宝に指定されるという事です。「菅浦文書」の内容は、村人を断罪する場合は、証拠を取ってえん罪を防ぐべきことや、親の罪を子に負わせることがないよう決めた村掟などで、現在の法律でも遜色ない進んだ法理念が記されています。この文書を読めば、この地には、古くから優れた考え方をもちつた人がおり、その考えを暮らしに生かす自治が息づいていたことがわかります。今回の国宝指定により、私たちの先人たちに再び光があたることを誇りに思います。

湖北・長浜は歴史の重みと文化の薫りは、日本一だと思えます。今後も「菅浦文書」などの「長浜の宝」の普及や研究活動を行い、この文化的価値を日本はもとより全世界に発信していきます。

未来を創る子どもたち

学校・園活動紹介 15

元気な永つ子 なかよく チャレンジ 根気よく

永原小学校では、水曜日を除く毎日、午後の授業前10分間に「チャレンジタイム」として、全校が一斉に詩の暗唱や計算練習に取り組んでいます。

詩の暗唱では、学年ごとの詩集に載っている詩を覚え、声を出して繰り返し読んでいくうちに、どの子どもも覚えていきま

す。1年間で子どもたちは何編もの詩を暗唱できるようになり、それが子どもたちの大きな自信となっています。

です」と、発表の良さや頑張りを見つけ、言葉で伝え合っています。

また、年に2回、保護者や地域の皆さんに参観していただく場で発表をしています。11月の「ながっこ広場」では、各教科等で学習したことを学年ごとに工夫して発表します。3月の「6年生を送る会」では、1年生から5年生が、卒業を間近に控えた6年生への感謝の気持ちを込めて、合唱や合奏、劇等を発表します。その後、6年生は思い出や在校生へのメッセージを発表しています。

子どもたちは、大勢の参観者を前にしても、明るく元気な声で堂々としていきます。こうした姿を見るのを楽しみにして、毎年大勢の



▲「6年生を送る会」ステージ発表

めざす子ども像

- 一、夢や目標をもち、それに向かって努力する子
- 一、思いやりのある心のやさしい子
- 一、ふるさとを愛し、誇りをもって生きる子

長浜子どものちかい

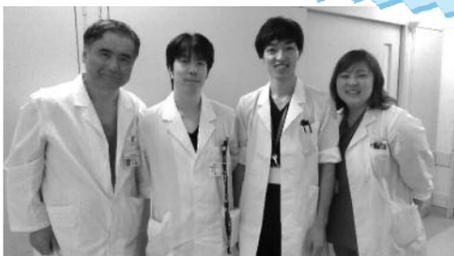
- ～わたしたちはちかいます～
- 一、元気にあいさつをします
 - 一、名前を呼ばれたら「はい」と返事をします
 - 一、「ありがとう」「ごめんなさい」をすなおに言います
 - 一、困っている人がいたら言葉かけます
 - 一、人の話をしっかり聞きます

長浜子育て憲章

- ～おとなが実践します～
- 一、子どもに誠実に生きる姿を見せます
 - 一、見守るまなざし、叱る勇気を大事にします
 - 一、ルールとマナーを教え、奉仕の心を育みます
 - 一、自然や人々に感謝の心でふれあう子どもを育てます
 - 一、長浜に誇りをもち、地域に貢献する子どもを育てます

市立病院通信(86)

お元気ですか



左から 市立長浜病院産婦人科 史朗 眞央
責任部長：林 嘉彦、部長：脇ノ上 史朗
副医長：渡辺 智之、副医長：上村 眞央

湖北地域の産婦人科医療に貢献します

市立長浜病院産婦人科は今年度より新しい2人の医師を迎え、新体制となりました。林責任部長のもと4人の常勤医で頑張る診療にあたっております。

産婦人科ではお産はもちろん、その他に良性腫瘍や悪性腫瘍の婦人科疾患、子宮脱や更年期障害などの女性医学、不妊治療や無月経などの生殖内分泌と幅広く診療しております。

当科での手術件数は近年増加傾向にあり昨年度の手術件数は331件でした。中でも特に体への負担が低いと考えられる腹腔鏡下手術が増えており、131件を占めています。手術には日本産科婦人科内視鏡学会

腹腔鏡技術認定医の脇ノ上が入っており安全の手術を心がけています。その他子宮脱に対しても保存的治療が困難な方には積極的に手術加療を行っております。

当科では妊娠成立時から分娩まで継続した管理を行い、里帰り分娩や里帰りまでの健診も引き受けています。またNICU(新生児集中治療室)が必須と考えられるハイリスク妊娠は周産期医療センターにご紹介させていただきます。

外来診療では更年期障害や月経不順・無月経の治療、一般不妊診療も行っております。地域診療での内科経験者の渡辺や女性医師の上村も出ていますので、何かお困りの方はお気軽に当科にご相談ください。

これからも湖北地域の産婦人科医療に貢献し、患者の皆さんに寄り添い、おひとりおひとりに適した治療を提供できるように、そして皆さんとの信頼関係を築けるようスタッフ一丸となつて頑張っておりますのでよろしくお願いたします。

問 市立長浜病院 (☎68-2300(代表))